

・宗像さんは、職場に呑む人がいないので、他部署の人を誘い飲みに行った、山口県から単身赴任できているので、山口に帰りたいのではないかと思っただが、家庭の事情がありこちらに残った方が給料が良いので残りたいとのことだった。実際に聞いてみないと分からないことが多々あることが分かった。

・奥さんからは、インドネシアの公共団地に住んでいるが、2年前に日本人学校ができた。学校より保育園が先ではないかと思っていたが、学校ができてこれでもいいと思っていたが、ここに来てまた保育園が足りないとの問題が出てきたので、バタバタしている。

・中根さんは、昨日（3月3日）が誕生日で、古希（70歳）になり、娘さんからお祝いに「ぐい呑み」をもらったと嬉しそうに見せてくれた。娘さんは下戸なので、婿うさんが飲めると聞いていたが、実際はノンアルコールを飲んで「美味しい」と言っているようで、話が違うとご立腹でした。でも、目は笑っていました。

・古川さんは、高校の同窓会の役員をやっており、現在記念誌づくりを手伝っている。同窓会の思は年齢の高い人ほど、思いが強く参加する人が多い。記念誌などを作るのに「寄せ書きアプリ」が役立つ。

・中村さんは、92歳の友だちが亡くなった。自分の思い通りの人生を送った。弔辞を読むこととなり、彼女なりのエピソードを交えて読んだ。私が「傘寿：80歳」・姉が「米寿：88歳」になるので、二人で来週お祝いをする予定でいるとのこと。（おめでとうございます）

・古江さんも、同窓会の役員をされているとのことですが、何をされているかは不明。SDGsの実践を行っており、電気代の節約で成果が出ているようです。12月の請求が、「31,000円：過去最高」でお尻に火が付き、節電の開始その結果、1月の請求は「16,800円」さらに2月の請求は、「10,100円」と、3ヶ月前に比べ1/3に減ったとのことです。

・遠藤さんは、特にありませんとのこと。

・林さんは、「SDGs 広報だより」の作成をはじめた事の話があり、創刊で「節電」の事例を取上げたので、次回は「古江さんの実例」を取上げたいと公表していました。